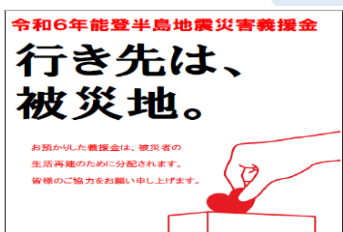


支え合いの気持ちが続々！



☆能登半島地震義援金を呼びかけました

1月22日から25日までの間、氷上中学校で、能登半島地震の被災者支援として募金活動が行われました。氷上中学校ボランティア委員会が、毎朝、入り口付近で授業が始まる前に呼びかけました。

集まった募金は、兵庫県義援金募集委員会へ送り、被災された方に届けられます。

東日本大震災の時もそうでしたが、今回の地震でも生活の再建までに長い時間がかかり、継続した支援が必要になります。

各所で募金活動が行われています。みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

注目！

お役立ち情報

来ていますか？ 災害への備え



近年では、地震や豪雨など自然災害が多くなっています。そんな災害に備えて準備はできていますか？準備といっても色々あります。

コトの備え



避難所の場所、避難所へのルートを確認すること、そして日頃からご近所との関係づくりがとても大切です！！

皆さんは能登半島地震発災時の石川県珠洲市三崎町で住民が全員避難でき無事というニュースをご覧になりましたか？三崎町では年1～2回避難訓練を実施されており、この時も隣近所で声を掛け合い、足の不自由な人を背負うなど協力して、地震発生後5分以内に全員避難ができ無事だったということでした。

「どこに誰が住んでいる」「あの人は手助けが必要」そんな情報を知っていなければ、三崎町のようには避難できません。日頃から、地域とつながり、自分という存在を周りに知らせておくことが大切です。家族・ご近所の方たちと災害が起こった時のことについて話をしてみることも立派な防災です。

モノの備え



食料は、日頃から消費し補充することが大切です。また、日用品も備えるために買い足すのではなく、普段使っているモノを持ち出す方が使い方も分かり、良いかもしれません。いざという時、「賞味期限が切れている」「使い方が分からない」そうならないように、普段の生活に備えを少し意識することも大切です。自分や家族の状況に応じて必要なモノを準備しましょう。

- 飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）
- 非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- トイレットペーパー、ティッシュペーパー・マッチ、ろうそく・カセットコンロ など

地域で守ろう
みんなの安全。



防災 × の講演会

福祉

『防災！一瞬の判断と備え』

2024年 **3月22日** (金)

●入場無料・申込不要 **19:30～**

会場

氷上住民センター
大会議室

(丹波市氷上町成松字甲賀1)

災害はいつ私たちの身に降りかかるかわかりません。
ご近所や自治会内での普段からのつながりが、災害時の声かけ
や避難の際にも活かされます。

地域でどのような取り組みや備えが必要なのかを学び考える
きっかけにしてみませんか？



講師

- 東京大学生産技術研究所リサーチフェロー
東京大学災害対策トレーニングセンター講師
- 日本防災士会本部理事
- 兵庫県防災士会副理事長

田中 健一 氏



阪神・淡路大震災時は、被災自治体の行財政支援に従事、その後27年間にわたり兵庫県庁で災害対策、防災教育などに長年従事し、2023年兵庫県庁退職。
2011年の東日本大震災以降、災害に関する様々な政策提言を国、被災自治体に対して行うとともに災害に関する学会に多数所属。
専門は自治体、企業、コミュニティなどの災害発生時における災害対応マネジメント、災害時要援護者の避難（認知症高齢者グループホーム）、また地域
コミュニティにおいては防災教育、原子力災害からの避難のあり方、地区防災計画等に焦点を当て研究活動中。

主催：社会福祉法人丹波市社会福祉協議会
氷上支所

〒669-3602 丹波市氷上町常楽209-1

お問い合わせ

TEL.0795-82-4613